

## 刑 事 法 問 題 用 紙

### 注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。(黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

【以下余白】

次の文を読み、下記の問1・2に答えよ。解答は、問1は紺色の解答用紙（その1）に、問2は茶色の解答用紙（その2）にそれぞれしるせ。

甲女（30歳）は離婚後、長男A（4歳）および次男B（1歳）とアパートで暮らしていたが、交際相手乙（23歳）ができたため、2人を育てるのが煩わしくなり、A及びBが死ぬかも知れないが、それでもかまわないと思いながら、2児をアパートに置き去りにして乙のマンションで生活していた。甲が1か月後に衣類を取りにアパートに戻ってみると、Bは餓死していたが、Aは冷蔵庫の食料品などを食べて生き延びており、甲の姿を見るとやせた身体で泣きながら抱きついてきた。

甲は、Aを育てなければと改心し、Bの遺体を深夜、裏庭にこっそり埋めたうえ、乙を説得して甲のアパートで3人で生活するようになった。しかし、乙は甲およびAにしばしば暴力をふるっていた。同居して約3か月後に、Aがテレビのチャンネルを乙の言うとおりに変えずに口答えしたため、怒った乙がAを抱え上げて投げ、床に倒れたAの腹部を蹴り始めた。甲は、乙を制止しようとその腕をつかんだが、顔面を殴られてその場に倒れてしまい、乙がAへの暴行を続けたため、Aは、出血性ショックによって死亡した。

- 1 (1)乙は、恐くなって逃げ出したが、数時間後、我に返り、自分で警察署に行き、「かっとなってAを殴ったら動かなくなってしまった」と述べた場合、乙に対して考えられる逮捕とその根拠条文を挙げ、その要件を簡潔に列挙せよ（100字以内）。  
(2)捜査機関が、甲のアパート内を調べるために必要な手続と根拠となる刑事訴訟法上の条文を挙げよ（30字以内）。  
(3)甲がBの遺体を埋めたことを自白したのを受けて、捜査機関がそれを発見した場合、この遺体に関する証拠を自白に対し何と呼ぶか（4字）。
- 2 甲の罪責を論ぜよ（特別法違反はのぞく）。